

令和3年度 学校経営ビジョンの具現化構想

学校経営ビジョン

全職員が一丸となり、生徒一人一人の可能性を伸ばし、知・徳・体のバランスのとれた生徒を育成する
～「4つの学ぶ力」を基盤としながら～

『チーム飢肥中』～組織の活性化～

- ◆ 風通しのよい職場づくり（相互理解・相互尊重）
- ◆ 個に応じた多様な指導・支援（進路実現）
- ◆ 報告・連絡・相談による効率的・効果的な役割遂行（働き方改革）

	目 標	具体的方策(10月・2月達成度調査)
知育 学力向上の充実	◇ わかる授業を実践する。その中で、個に応じた指導支援の充実を図る。また、全体的な数値目標として、各種学習調査で前年度の結果を上回る。 ①～④は、今までの飢肥中学校の取組です。今年度は主題研として実施できないので、各自で意識して取り組む。	① 「めあて」「学習課題」「学習目標」と「まとめ」の整合性 <ul style="list-style-type: none"> ・ 導入で「めあて」「学習課題」「学習目標」を提示する。 ・ 終末で「まとめ」を設定し整合性を図る。 ② 見通しのある授業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の流れ（展開）を理解させる。 ・ 板書の工夫を行う。 ③ 「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「認め合い・高め合う学習」により、生徒一人一人の思考・判断・表現を大切にし個に応じた適切な指導・支援を図る。 ④ 特別支援教育の視点を活かした学習環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒一人一人が安心して学べる学習環境づくりを目指すために授業チェックアンケート（学期ごと）を行い検証する。
徳育 積極的な生徒指導の推進	◇ 組織的な生徒指導の確立を行う。数値目標として不登校を0に近づける。 各学年主任 生徒指導主事⇄学担・副担 報告・連絡・相談 部活動担当等 ◇ 3年間を見通したキャリア教育を目指す。	① 生徒指導（特別支援学級含）における共通理解や共通実践の場を設定し、生徒指導主事を中心に体制を確立する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 火曜日の1校時：校内定期教育支援委員会での対策協議 ・ 火曜日の3校時運営委員会での情報共有・対策決定 ・ 次週月曜日の職朝での共通理解・共通実践 ※ 必要に応じて水曜日の職員会も活用する。 ② 意図的・計画的なキャリア教育の「生き方」（自立・共生・感謝）指導により、学年に応じた具体的活動を設定する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年「地域との関わり」自立 ・ 2年「社会との関わり」自立・共生 ・ 3年「未来との関わり」自立・共生・感謝 →キャリアデザイン設計 ・ 12年間によるキャリア・パスポートの活用により、学びの振り返りや自己の変容や成長を自己評価させる。
体育 健康教育の充実 安全教育の充実	◇ けがや病気の見落としがない保健室経営に努める。 ◇ 日南市「いのちの教育」(性に関する教育)の充実を図る。 ◇ けが等の未然防止のために安全点検を行う。	① 生徒一人一人の状況において、管理職や職員、保護者との連携を密にする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康チェックカードによる日常観察 ・ 体調不良・けが等のきめ細かな連携 ② 自他を大切にする生徒を育てるために、「いのちの教育」の手引きをもとに毎学期1回授業を行う。 ③ 毎月1回、安全点検を行い、点検状況を全職員で共有し生徒への指導に役立てる。
特別支援教育の充実	◇ 様々な支援を要する生徒への学習環境づくりや学習支援を充実する。	① 常に生徒の実態把握を行い、個に応じた効果的な指導・支援を行う。主に以下のことについて、重点的に取り組みながら工夫改善を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 火曜日の1校時：校内定期教育支援委員会での対策協議 ・ 個に応じた学習環境・居場所づくり ・ 学習支援(SSを中心とした全職員体制) ・ 関係機関との連携